

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

10月の銅の概況及び11月の見通し (1)

予想レンジ		
LMEセツル	8,500-10,000ドル	↑
建値	98万円-119万円	↑
為替	110~115円	円安
(1か月間TTM)		

■国際概況

前半は米連邦準備制度理事会(FRB)による量的緩和規模縮小が11月にも決定されるのではないかとの見方や中国の電力不足による工場の稼働低下に伴う需要不安などのマイナス材料もあったが米株市場は米債務上限引き上げ問題に関して、12月初めまでの暫定的な引き上げで合意したと伝えられたこと、世界的なエネルギーコスト高による供給ひっ迫懸念を好感しUP。

10月15日時点で9,971ドル(セツル)と月初価格より930ドルUPの締め。

後半は世界的なエネルギーコスト高による供給ひっ迫懸念などのプラス材料もあったがこれまでの上昇で高値警戒感が強まったことに加え、中国の第3四半期の国内総生産(GDP)の鈍化、燃料炭価格抑制策を発表したことを嫌気しDOWN。

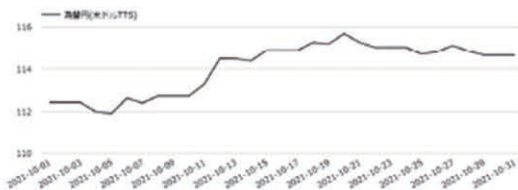
10月末日 現在、後半スタート価格から600ドルDOWNの9,955ドル。

11月スタート建値は117万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

112.43→114.67(円)



出典 MIRU

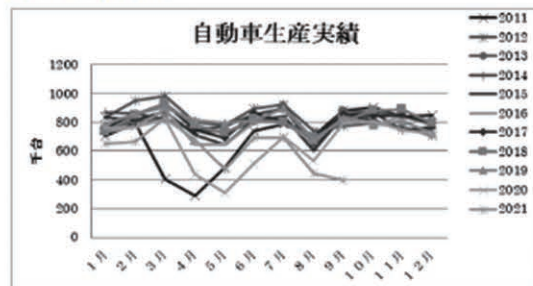
【国内指標】

◆自動車生産台数

生産動態統計によると9月の自動車生産台数は前年比-49.7%の39万8,075台。

	7月	8月	9月
生産台数	68万8771台	44万8434台	39万8075台
前年比	+22.5%	-19.4%	-49.7%

自動車生産台数



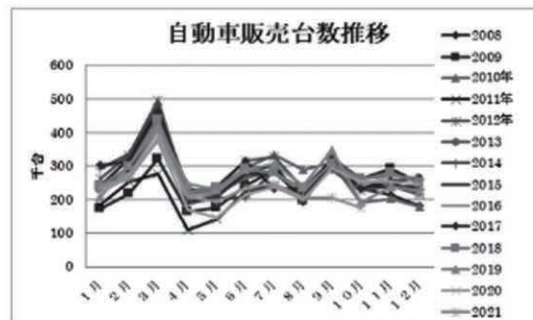
出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-30.2%の17万6,743台。

	8月	9月	10月
販売台数	20万6568台	20万5423台	17万6743台
前年比	+4.4%	-30%	-30.2%

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

【住宅着工戸数】

9月の新設住宅着工は、分譲住宅は減少したが、持家及び貸家が増加したため、全体で前年同月比4.3%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.2%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は 73,178 戸。前年同月比 4.3%増、7か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は 6,012千㎡。前年同月比 3.2%増、6か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では 845千戸。前月比 1.2%減、2か月連続の減少。

	7月	8月	9月
新設住宅着工戸数	7万7182戸	7万4303戸	7万3178戸
前年比	+6.9%	+7.5%	+4.3%

(次号へ続く)

日刊金属

6カ月:46,200円

外電配信料

12カ月:92,400円

(税込)

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128